

2009年度

| | | | |
|--|--|-----|-------|
| 科目名 | 社会福祉援助技術論 I | | |
| 担当教員 | 畠中 義久、農野 寛治 | | |
| 配当 | 教福2(4214) | コード | 23051 |
| 開期 | 通年 | 講時 | 火曜日3限 |
| | | 単位数 | 4 |
| 授業テーマ | ソーシャルケースワーク、ソーシャルグループワーク実践のための基礎的な知識と技法を理解する。 | | |
| 目的と概要 | 社会福祉実践の現場での生活問題への支援のために用いられるソーシャルケースワークとグループワーク等についての理論を理解し、その基本的な技法について、演習も交えて習得することを目的としている。 | | |
| 成績評価法 | 受講態度・筆記試験・演習参加姿勢など、総合的に評価する。 | | |
| テキスト | シリーズ基礎からの社会福祉2『社会福祉援助技術論』基礎からの社会福祉編集委員会編、野村武夫ミネルヴァ書房 | | |
| 参考書 | | | |
| 履修に当たっての注意・助言 | 演習も交えた授業なので、受講生の積極的な参加を求める。 | | |
| 講義計画 | | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1) 社会福祉援助技術の歴史(1) ソーシャルケースワークの成立 2) 社会福祉援助技術の歴史(2) ソーシャルワークの諸モデル 3) 対人援助技術の基礎(1) 自己覚知「観る－観られる関係」 4) 対人援助技術の基礎(2) Social work interview とは何か？ Communication 5) 対人援助技術の基礎(3) Social work interview とは何か？ Non-verbal Communication 6) 対人援助技術の基礎(4) Social work interview とは何か？ 面接の構造 7) Social work interview の技法(1) 面接を展開する技法 8) Social work interview の技法(2) 面接を深める技法 9) Social work interview の技法(3) 感情の扱い 10) Social work における記録の取り方 11) 社会福祉援助技術の歴史(3) ソーシャルグループワークの成立 12) グループワークのプロセスと構成要素 13) グループワークで用いられる技法 14) 権利擁護とアドボカシー 15) まとめと補足－Social work の2つの視座(1) 主観的世界の理解と育成 16) 社会福祉援助の価値 17) ソーシャルワーク援助の原則 18) ソーシャルワークのプロセス 19) インテークの段階ですべきこと 20) アセスメント 21) システム理論と生態学的視座 22) エコマップの描き方 22) プランニング－計画的支援と資源の選択 24) インターベンションとモニタリング 25) 対人援助における倫理観 26) 多職種によるチームケア(1) (高齢者への医療・福祉アプローチ) 27) 多職種によるチームケア(2) (児童虐待への福祉・教育アプローチ) 28) 多職種によるチームケア(3) (障害児への福祉・教育アプローチ) 29) 多様化した社会福祉援助技術の概略 30) まとめと補足－Social work の2つの視座(2) 客観的世界の理解と援護 | | | |